

※同一科目の昨年度以前の内容です。

授業科目名	ライフプランニングから見た金融
授業科目名(英字)	Finance from the perspective of life planning
時間割	1Q 木曜日 5校時 L-3 1 4
対象年次及び学年	1年次
担当教員	三好 秀和
ナンバリングコード・水準	B1
ナンバリングコード・分野	LFD
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	dec
ナンバリングコード・提供部局	G
ナンバリングコード・対象学生	1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	O
ナンバリングコード・授業形態	Lx
ナンバリングコード・単位数	1

関連授業科目	なし
履修推奨科目	なし
学習時間	授業90分×8回自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)
授業の概要	パソコンの表計算ソフトを利用して、日本人の標準的なライフプランを作成します。その作成した結果から生活を全うするために必要な金融商品を学ぶことでライフプランに必要な金融商品や仕組みはどのようなものかを学ぶことができます。ライフプランを作成すれば少子化問題、高齢化問題、非正規雇用問題、男女賃金差問題が具体的に理解できます。また、金融商品の意義がわかる一方で本来の目的から外れた金融商品の購入の仕方が理解できます。若い君たち大学生が今後どう生きていくべきかの指針を得ることができる授業です。 (キーワード)ライフプラン、人生の多様性、インクルーシブな社会への対応。
授業の目的	人生に金融はどのように役立っているのでしょうか。この疑問に答えるためのベースとなっている人々に生活に焦点をあて日本人の標準的な生活を金銭的な視点で理解しながら金融の意義を学びます。そのために、公開されている統計データから日本人の生活をライフプラン作成の手法を通じて描き出す能力を身につけることができます。そして、その能力は自分の将来を描きだすことができるようになり、さらには倫理観に即したあるべき姿を創造することになります。先人の知恵である金融商品がどのように生まれたか、その意義を学ぶことができます。
到達目標	1.標準的なライフプランと金融商品の同時の学びで消費者トラブルが生じた原因を考え、市民としての責任感と倫理観を身につける。(市民としての責任感と倫理観対応) 2.日本人の標準的なライフプランで人生について意見、気づき、社会の問題発見能力が養える。(広範な人文・社会・自然に関する知識対応) 3.レポートにおいて地域住民であり生活者である父母のライフプランを作成し、その中からの気づきにより地域課題を発見できる。(地域に関する関心と理解力に対応)
成績評価の方法	平常点100%、講義中に課題や小テストをおこないます。 有益な発言意見には別途加点をおこなう。出席すればそれだけで平常点になることはありません。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。
	【授業計画】 第1回 シラバスに基づいて授業の全体像を説明する。また、ライフプランとは何か。統計データをどう集めるか。家族のセットアップと家計統計について説明する。 第2回 収入1 日本人の平均年収、正規と非正規、男女賃金差、香川・岡山の最低賃金を知る。アルバイト先は法令順守しているか。 第3回 収入2 上場企業の年収、君のいきたい会社の年収は? その差の原因は何か? 給与明細を見て社会保険料、税金を学ぶ。 第4回 三大支出1 生活費、いくら日本人は生活費にお金をかけているか? 消費者ローン、カード利用の問題点と利用方法。複利を味方につけるか敵に回すか? 第5回 三大支出2 住宅費はいくらかかるか? 賃貸と持ち家論争。住宅ローンはいくらかかるか? 第6回 社会保険と生命保険を学ぶ(財団法人生命保険文化センターゲスト講師による座学) 第7回 三大支出3 老後資金2000万円問題。年金はいくらもらえるのか。

<p>授業計画並びに授業及び学習の方法</p> <p>教科書・参考書等</p>	<p>第8回 資産運用 自己責任の時代を生き抜く。退職金、確定拠出年金は実は投資信託での運用です。投資信託のベースは何か。複利を味方にしよう。非課税商品を知ろう。分散投資の意味を知る。</p> <p>【授業および学習の方法】 講義中心に進めますが、受講生の理解を助けるため適宜質問し回答してもらいます。このキャッチボールは柔軟な頭脳と瞬発力を高めます。知識一辺倒ではなく考える授業にし、問題解決能力を高めます。</p> <p>この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を全く対面または遠隔へ変更する可能性があります。</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】 学習の課題となったデータを検索すること。学習の方法として表計算ソフトを学んでしまつこと(1時間程度)、授業で不明な点を解決すること、そして、復習として授業の学びをまとめること(1時間程度)が必要です。さらに、経済新聞や経済ドラマを見て金融機関とのかかわりが話題となっていないかを関心をもって観てください(1時間程度)。社会の仕組みの理解が深まります。特に倫理観の欠如が社会にどのように影響するかを想像することも大切となります。</p> <p>参考書:三好秀和著2017『銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ 金融キャリアの教科書』経済法令研究会 ISBN978-4-7668-3346-1 1300円+税 三好秀和、佐々木一雄著2017『3年で退職しないための就活読本』同友館 ISBN978-4-496-05257-6 1600円+税</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>木曜日 4 限目(授業前の時間)、研究室は寺町南 7 号館 3 F の個人研究室。事前にメールしてください。</p>
<p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p>	<p>授業はパソコン持参必須です。 受講生家族のライフプランを作成してもらいますが、個人情報保護の観点からライフプランは提出不要です。</p>
<p>参照ホームページ</p>	<p><a href="http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/">http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/</a></p>
<p>メールアドレス</p>	<p>miyoshi.hidekazu@kagawa-u.ac.jp</p>
<p>教員の実務経験との関連</p>	<p>日本FP学会理事、確定拠出年金の試験制度であるDCプランナーの試験委員は2000年からしています。以前はビジネスマンとして金融機関に従事していました。資産運用会社でのトレーダー等の経験もあります。現在、香川大学のリークル、金融証券研究会の顧問をしてアナリスト養成で教えています。2024年度は3名(財務部のOB、2年生、4年生)のアナリスト試験1次科目合格者を輩出しました。当然、私自身も証券アナリスト資格保持者です。今年は金融経済教育推進機構から認定アドバイザーに認定されました。金融教育を通じて社会貢献を行います。</p>
<p>特記事項</p>	<p>障がい等により本授業の受講に際し特別な配慮を要する場合は、所属学部・研究科の学務係(医学部・医学系研究科は学生係)又はバリアフリー支援室に事前に相談してください。</p>